



# 2011年10月期 第2四半期決算説明資料

2011年6月9日(木)  
株式会社オハラ(証券コード:5218)

- ◆ 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ◆ ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。
- ◆ この資料の著作権は株式会社オハラに帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

---

◆	<b>2011年度 2Q決算の概況</b>	<b>P03～10</b>
---	---------------------------	---------------

---

◆	<b>2011年度 通期業績見通し</b>	<b>P11～19</b>
---	---------------------------	---------------

---



## 2011年度 2Q決算の概況

## <外部環境>

- ◆ 東日本大震災により、一時的に光学ガラス需要落ち込み
- ◆ デジタルカメラ市場は一眼レフ中心に好調
- ◆ 中国EL枠縮小に伴うレアアース価格の高騰
- ◆ HD市場はタブレットPCの普及で需要伸び悩み
- ◆ 半導体、液晶露光装置市場は好調を維持

## <当社業績>

- ◆ 東日本大震災による被害は軽微
- ◆ 光学ガラスは、交換レンズ向け中心に好調だが、ランタン等の原料価格高騰が収益を圧迫
- ◆ HD用ガラス基板材は、需要減により厳しい状況
- ◆ 特殊ガラスは、露光装置向け需要が好調

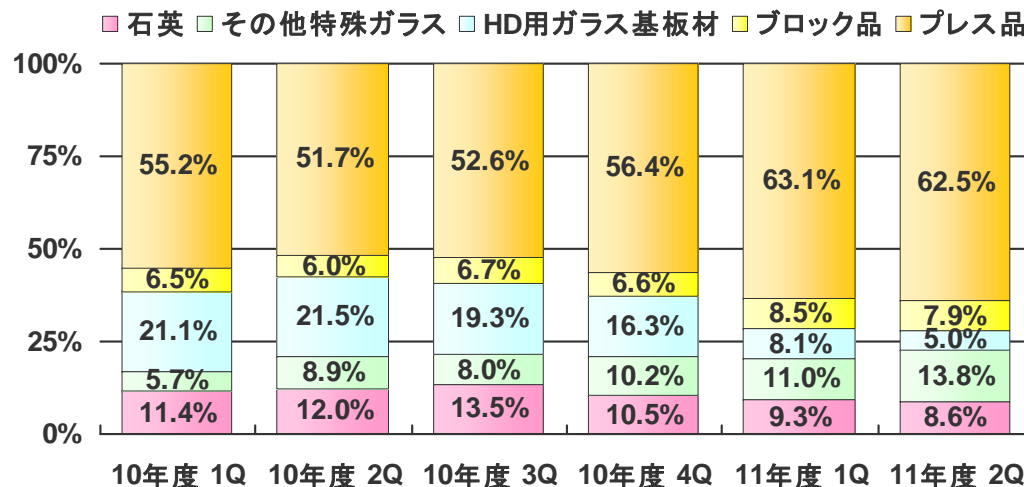
# 業績サマリー

(単位:百万円、%)

	10年度 上期	11年度 上期	増減
売上高	13,090	13,061	△28 △0.2%
売上総利益 [売上総利益率]	4,104 31.4%	2,895 22.2%	△1,208 △29.4%
営業利益 [営業利益率]	1,481 11.3%	196 1.5%	△1,285 △86.7%
経常利益 [経常利益率]	1,604 12.3%	317 2.4%	△1,287 △80.2%
純利益 [純利益率]	1,187 9.1%	202 1.6%	△984 △82.9%
為替レート 円／1USD 円／1EUR	90.73 127.78	82.75 113.51	

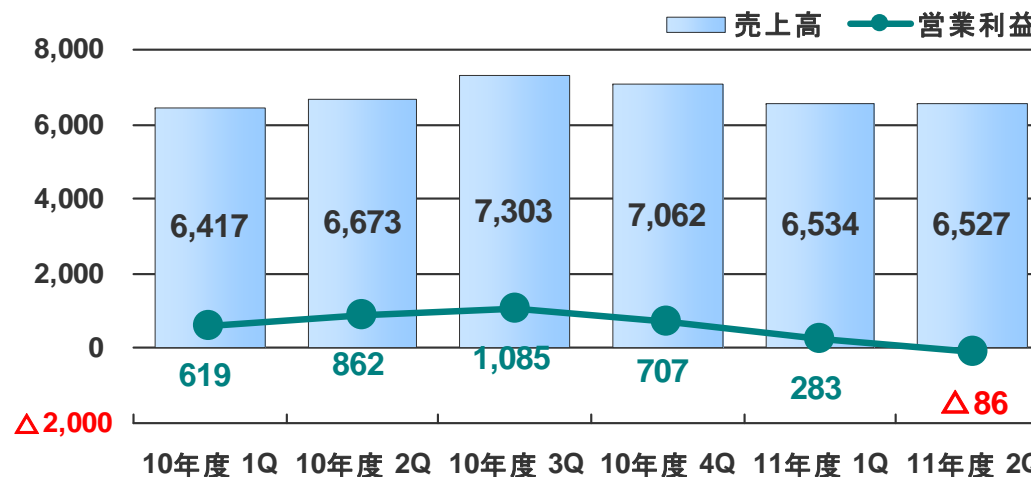
## <製品別売上高内訳>

(単位:%)



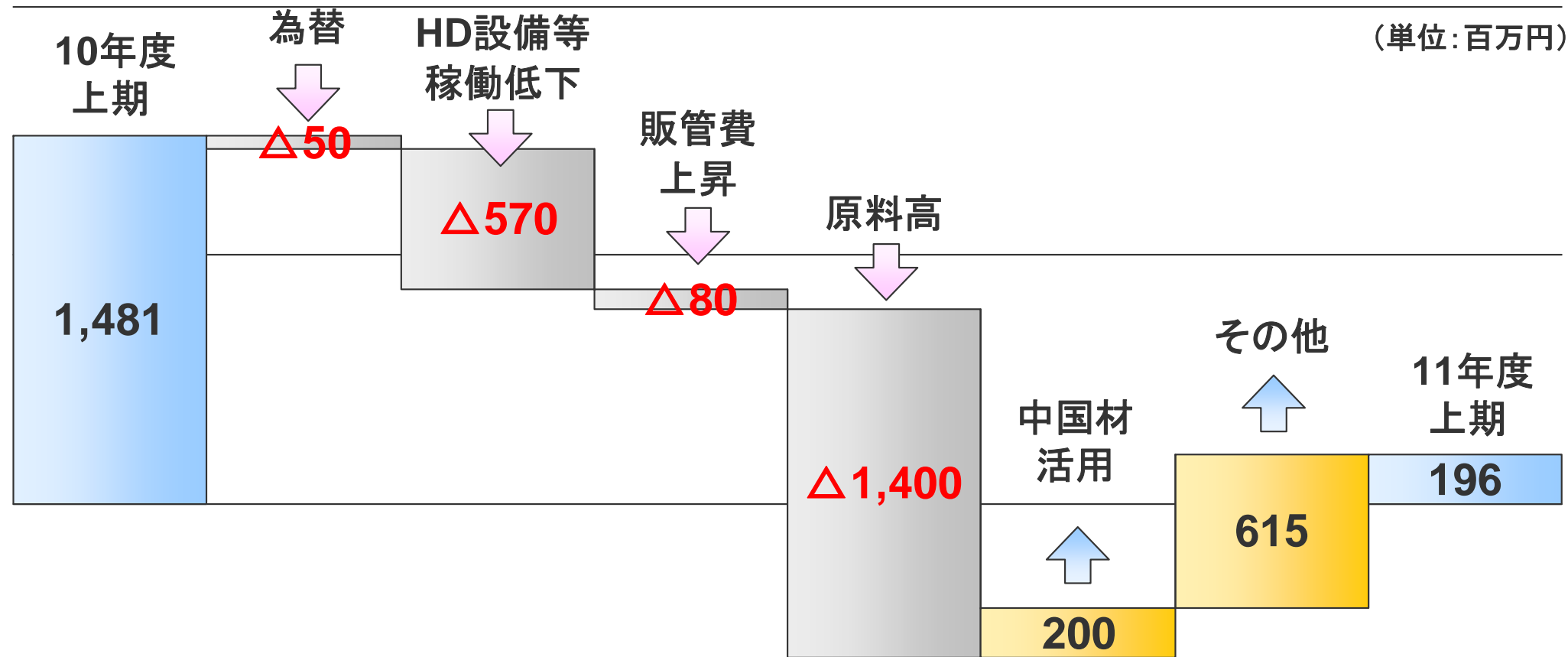
## <四半期推移>

(単位:百万円)



# 損益増減要因①

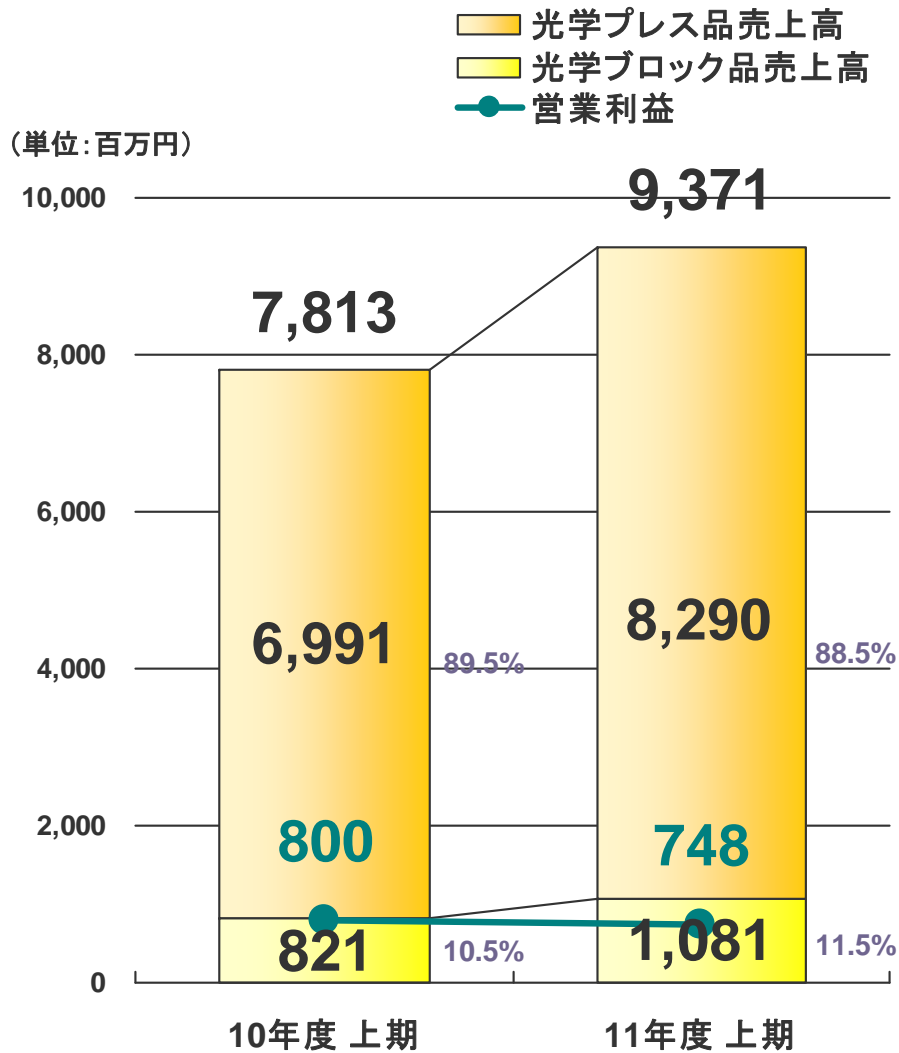
**営業損益** 196百万円 (前期比△86.7%)



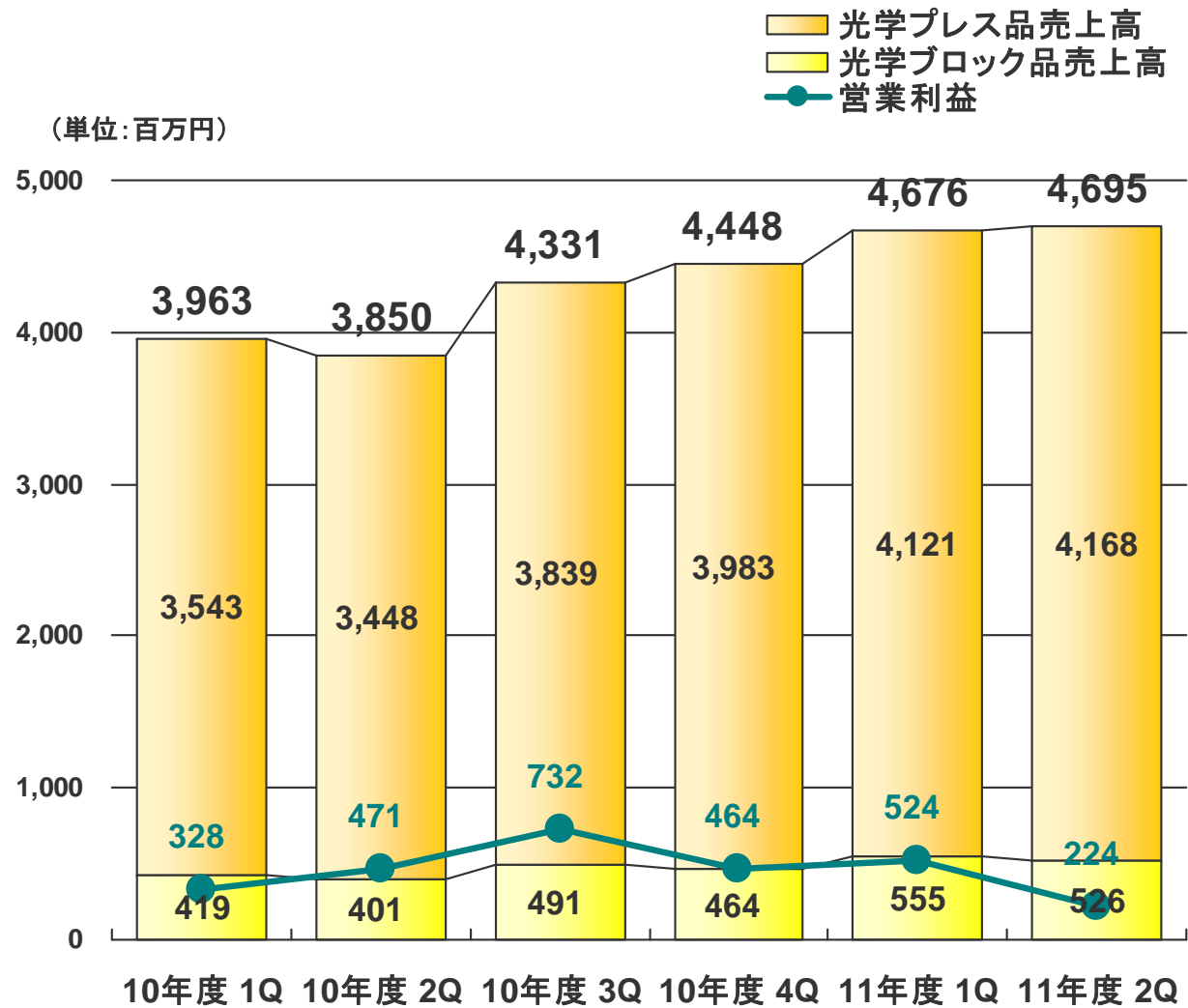
# 損益増減要因②

↑	<b>&lt;営業外損益&gt;</b>	120百万円	前上期比	<b>△2百万円</b>
↑	金融収支			9百万円
↑	為替差損益			11百万円
↓	その他			<b>△22百万円</b>
↑	<b>&lt;特別損益&gt;</b>	425百万円	前上期比	430百万円
↓	災害による損失			<b>△46百万円</b>
	→在庫等の廃棄損	<b>△28百万円</b>		
	→生産設備稼働停止による影響	<b>△16百万円</b>		
↓	資産除去債務会計基準適用に伴う影響額			<b>△86百万円</b>
↑	退職給付制度改定益			551百万円
↑	その他			11百万円

## <上期対比>



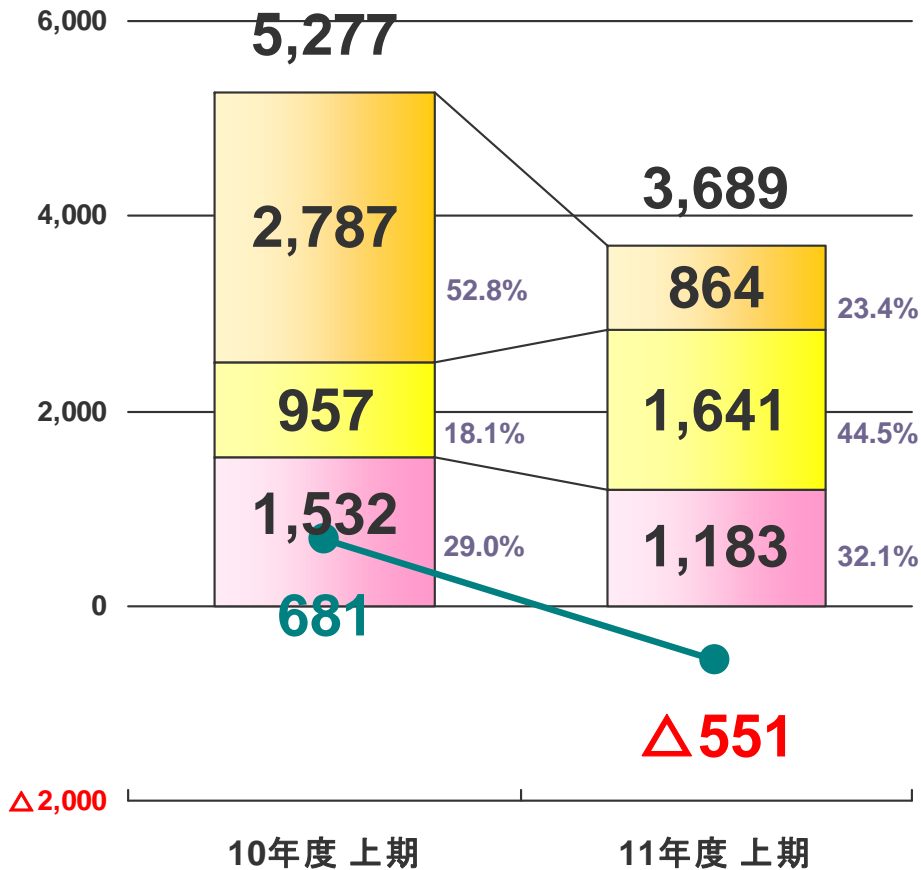
## <四半期推移>



## <上期対比>

HD用ガラス基板材売上高  
 その他特殊ガラス売上高  
 石英売上高  
 営業利益

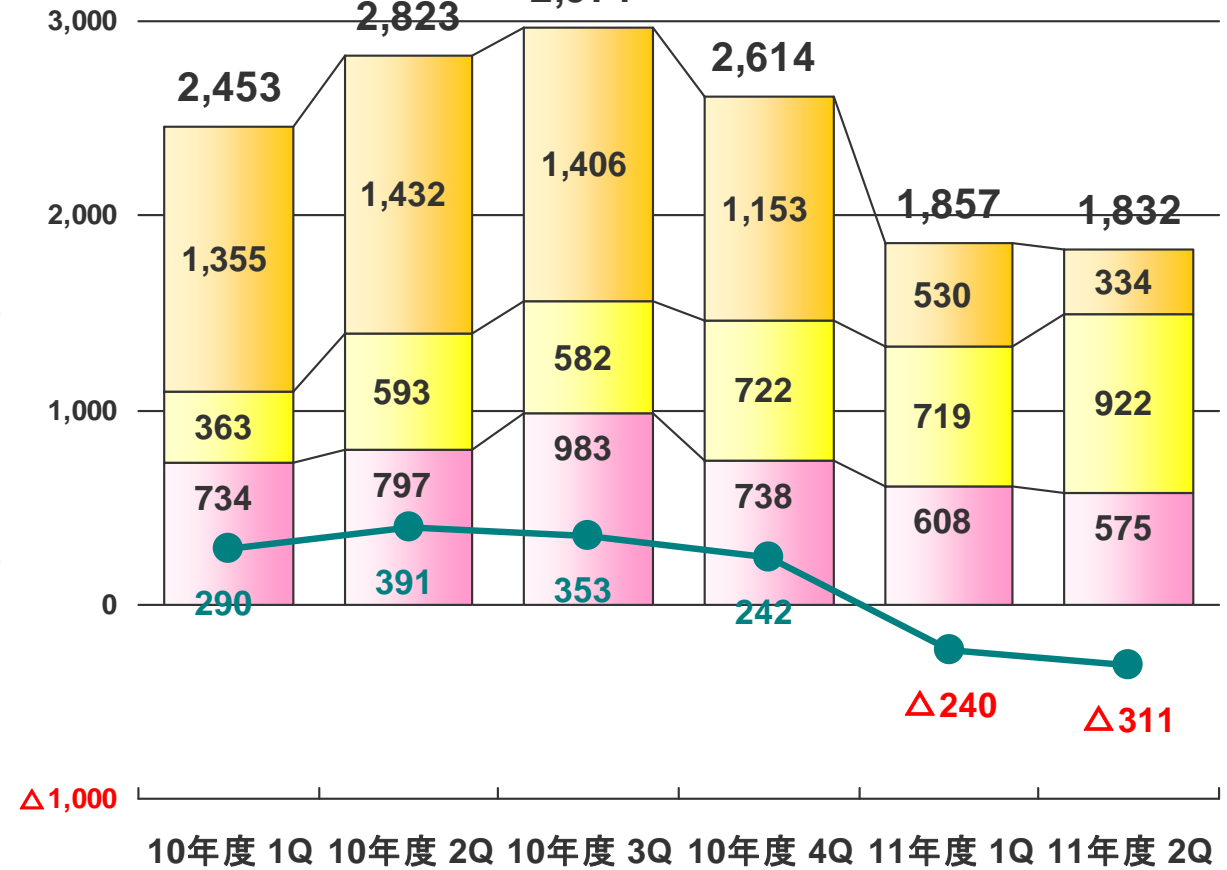
(単位:百万円)



## <四半期推移>

HD用ガラス基板材売上高  
 その他特殊ガラス売上高  
 石英売上高  
 営業利益

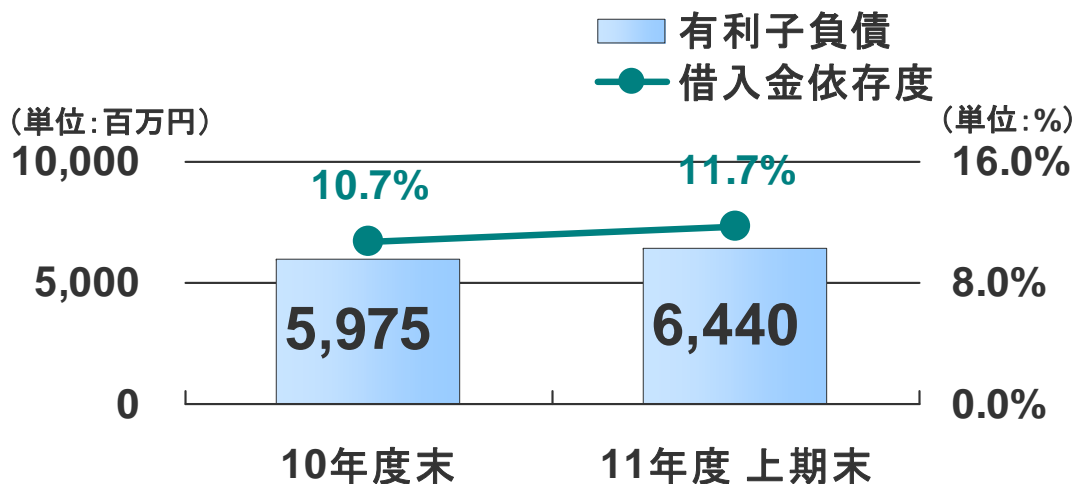
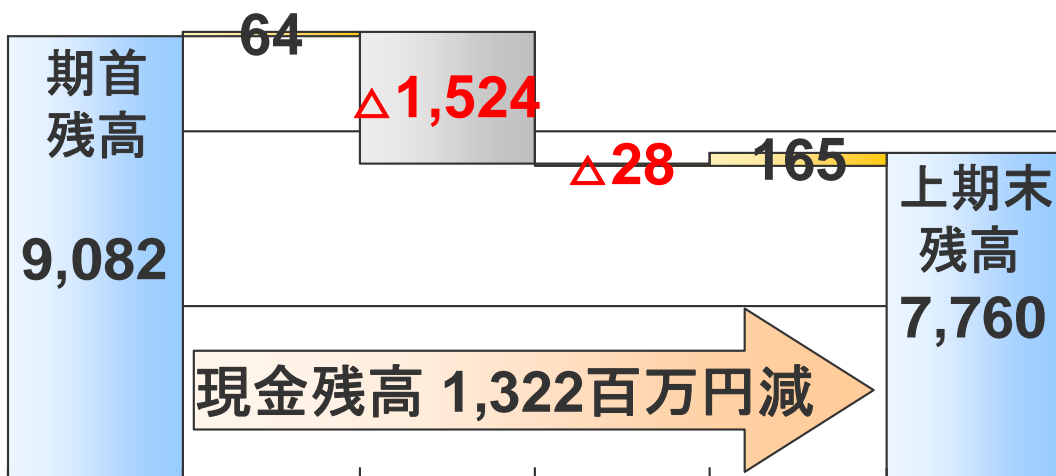
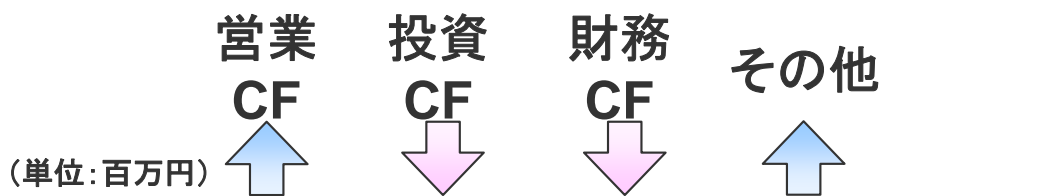
(単位:百万円)



△2,000

△1,000

# キャッシュ・フロー



(単位:百万円)

## 営業CF増減主要因(前期末は1,510)

たな卸資産の増減(Δは増加)	Δ1,413
売上債権の増減(Δは増加)	1,472
仕入債務の増減(Δは減少)	369
税金等調整前当期純利益	742
減価償却費	976

## 投資CF増減主要因(前期はΔ558)

有形固定資産取得	Δ856
出資金払込	Δ625

## 財務CF増減主要因(前期はΔ688)

借入金の増加	465
配当金支払額	Δ487



# 2011年度 通期業績見通し

# 見通しサマリー

(単位:百万円、%)

	10年度実績	11年度修正予想 (2011/6/9)	増減	11年度当初予想 (2010/12/15)
売上高	27,456	28,000	544 2.0%	30,000
売上総利益 [売上総利益率]	8,675 31.6%	6,700 23.9%	△1,975 △22.8%	8,500 28.3%
営業利益 [営業利益率]	3,275 11.9%	900 3.2%	△2,375 △72.5%	2,700 9.0%
経常利益 [経常利益率]	3,105 11.3%	1,100 3.9%	△2,005 △64.6%	2,900 9.7%
純利益 [純利益率]	1,963 7.2%	700 2.5%	△1,263 △64.4%	1,700 5.7%
為替レート 円／1USD 円／1EUR	88.88 119.82	80.00 110.00		80.00 110.00
通期配当(円)	20.00	20.00		20.00

# 光事業見通しのポイント

## <外部環境>

- ◆ 一眼レフは好調に推移
- ◆ コンパクトは価格低下ながらも需要は堅調
- ◆ レアアース価格は上昇傾向

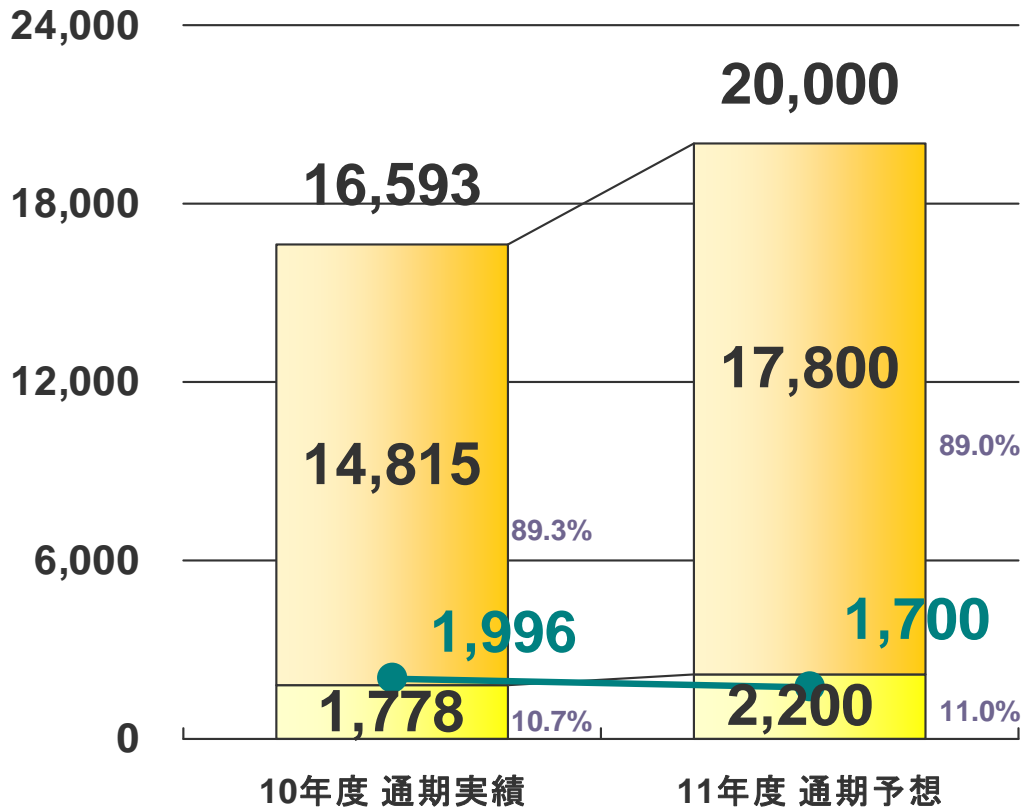
## <当社状況>

- ◆ 光学ガラスの需要は旺盛、高稼働率が続く
- ◆ 原材料調達が多様化により利益率改善
- ◆ 原料価格上昇分の一部負担を顧客に要請

## <通期対比>

■ 光学プレス品売上高  
■ 光学ブロック品売上高  
● 営業利益

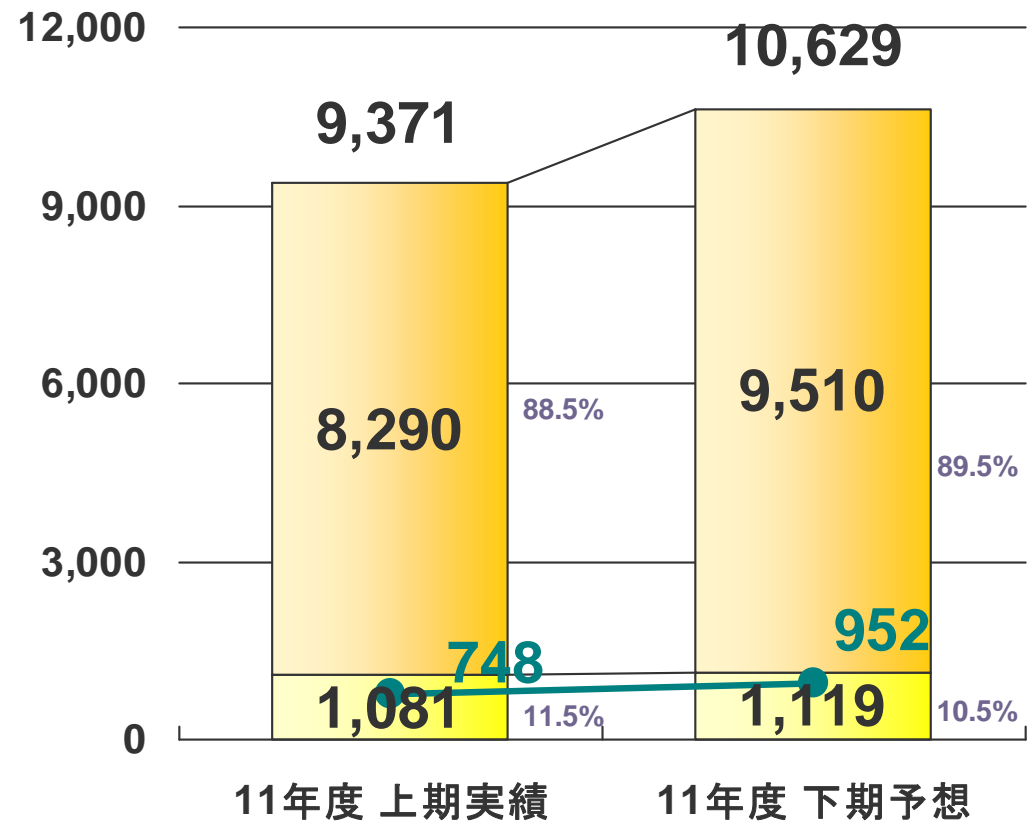
(単位:百万円)



## <半期対比>

■ 光学プレス品売上高  
■ 光学ブロック品売上高  
● 営業利益

(単位:百万円)



## <外部環境>

- ◆ HD市場はペースは鈍るものの成長が続く
- ◆ 半導体／液晶露光装置市場は堅調

## <当社状況>

- ◆ HD用ガラス基板材は緩やかに需要回復
- ◆ その他特殊ガラスは一部在庫調整の動き
- ◆ 石英ガラスは需要回復

# エレクトロニクス事業見通し

## <通期対比>

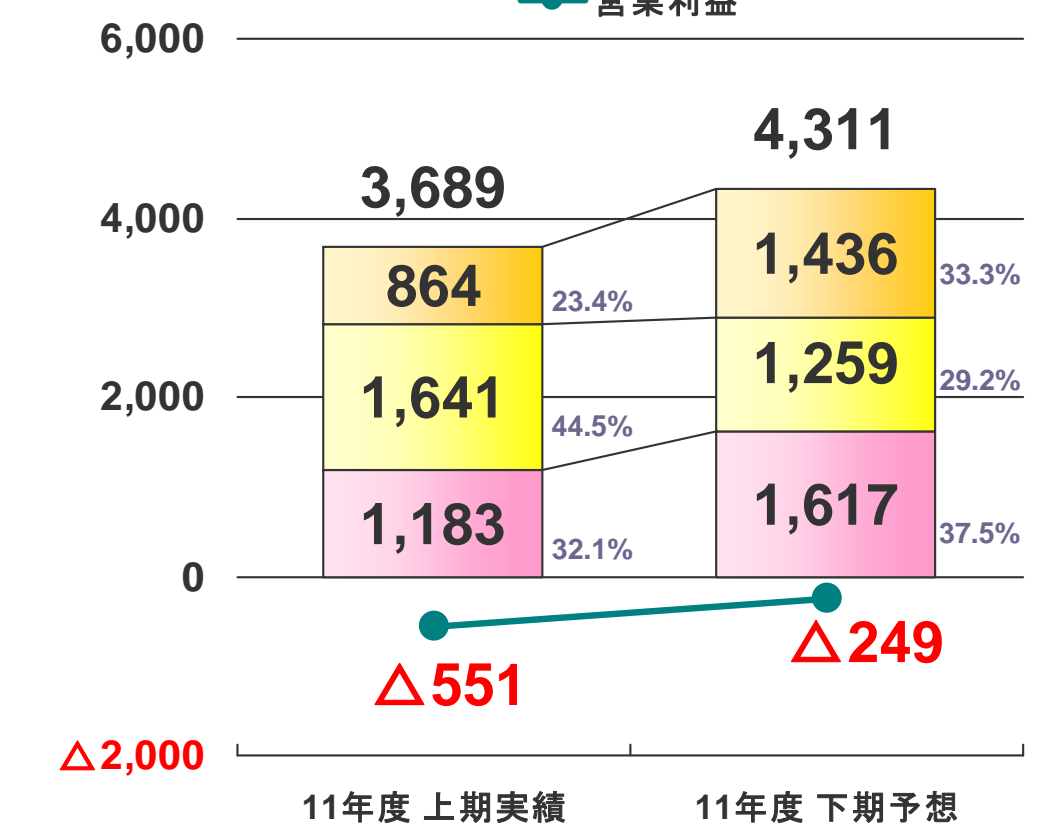
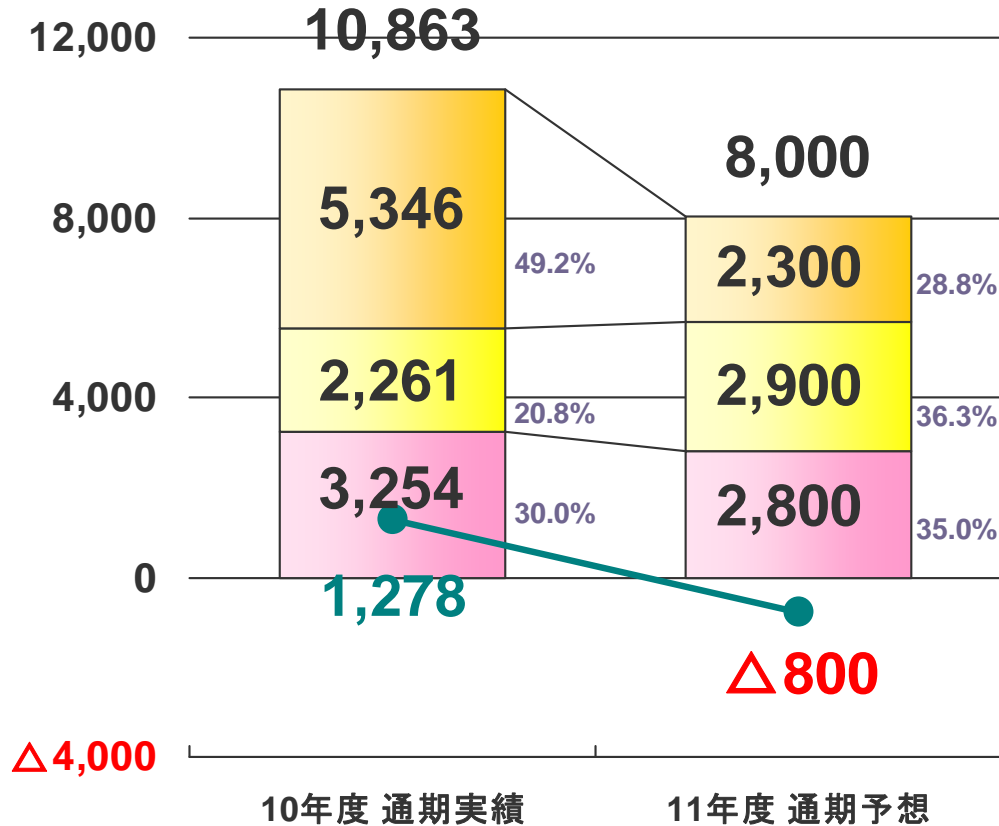
## <半期対比>

HD用ガラス基板材売上高  
 その他特殊ガラス売上高  
 石英売上高  
 営業利益

HD用ガラス基板材売上高  
 その他特殊ガラス売上高  
 石英売上高  
 営業利益

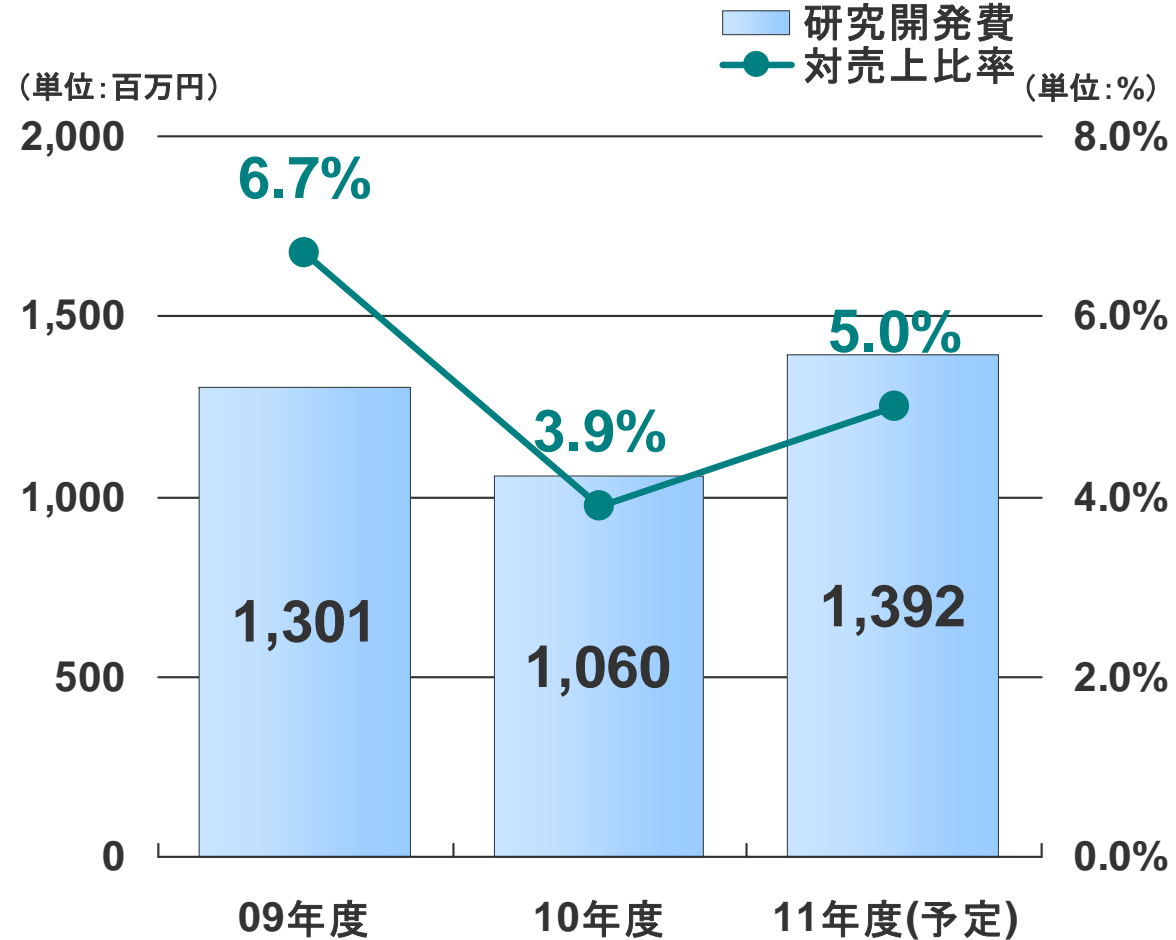
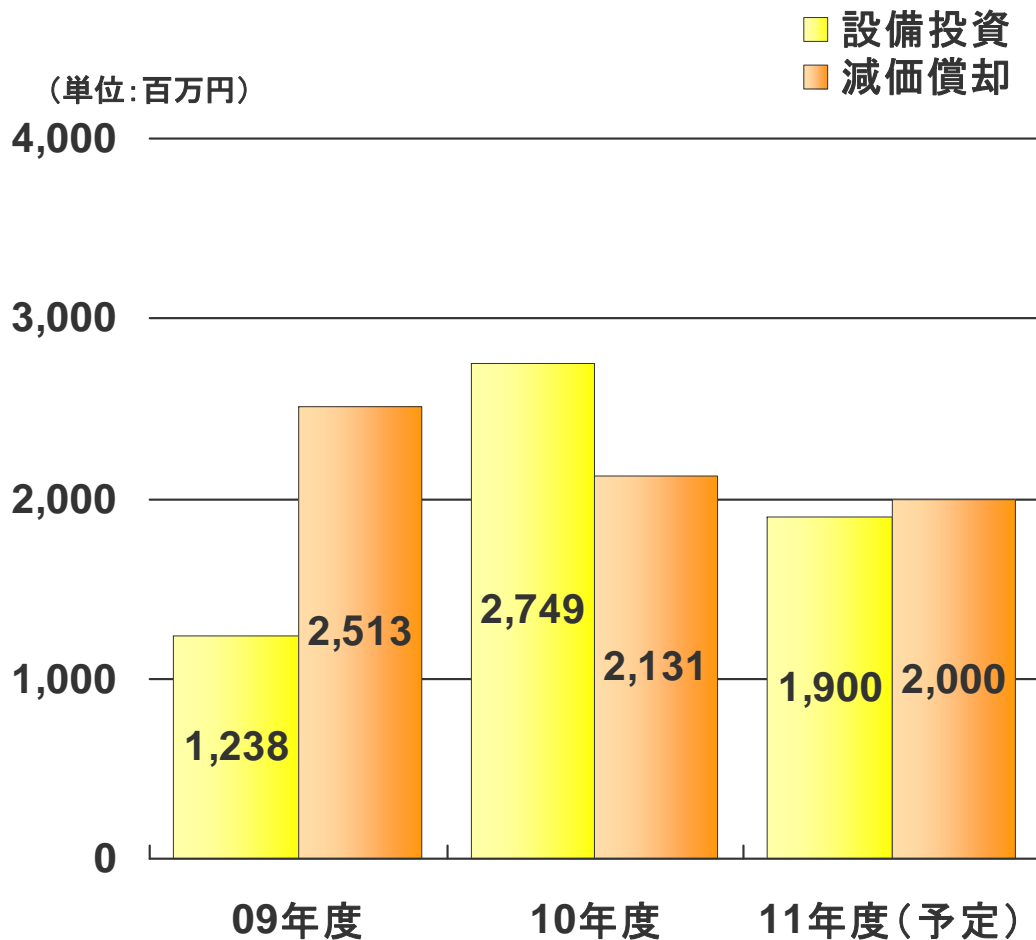
(単位:百万円)

(単位:百万円)



## 設備、減価償却

## 研究開発費



# 下期の取り組み①

## 専門組織を設置し、経営資源を集中

### 1. 調達部

グローバル調達の強化

### 2. 合弁会社における生産技術プロジェクト

光学ガラス中国生産の早期実現

### 3. インキュベーションセンター

新事業の立ち上げ加速

## 北方光電社(旧湖北新華光社)との合弁会社 「華光小原光学材料(襄陽)有限公司」稼働

かこう おはら こうがく ざいりょう じょうよう

### <企業概要>

- (1)所在地 中国湖北省襄陽市
- (2)事業内容 光学ガラスの製造・販売  
予定生産能力 130トン/月
- (3)資本金 1,500万USドル
- (4)設立 2011年3月
- (5)決算期 12月
- (6)出資比率 北方光電社:51%  
株式会社オハラ:49%



熔融開始の様子



**OHARA**